

1062

4.

三
一
南
西
空
軍
詳
報

電
信
第
三
十
六
聯
隊

昭和二十年三月一日

24217

三月一日南西空襲戰鬥詳報

電信第三十二聯隊

1063



三月一日敵機空襲戰鬥要報

目次

昭二〇、三一
球第三六部隊

- 一 敵機來襲前狀況ト之ニ基テ各部隊ノ處置
- 二 天候氣象ノ概要
- 三 敵機來襲狀況ト我々邀撃戰鬥狀況
- 四 沖繩本島地区
- 五 其他地区
- 六 敵機ノ機種機数及攻撃法
- 七 敵機ノ損害ノ概要
- 八 我々方ノ損害ノ概要
- 九 官民ノ治安狀況
- 一〇 敵機來襲前狀況ト之ニ基テ各部隊ノ處置軍ハ左記諸情報ヲ綜合シ敵機動部隊ノ大率來襲ヲ予想シテ警戒及戰鬥準備ヲ嚴シクシタリ

左記
敵機動部隊ノ主力ハ十九日三三〇ノ二十度十分五十四度五十分

24210

10

分ニ判定セラレ爾後南西諸島方面ニ対スル策動企圖依然警
戒ヲ要ス

1. 機動部隊生カハ十九日一二三七短時間電波ヲ輻射セルモ爾後
電波管制シテテ硫黄島方面策動部ト關聯特ニ密接ナ
ラス

2. 敵機動部隊ハ二十六日頃本土近海ヨリ脱去シ次期作戰準備中ナ
ルモノ如シ

3. 廈門情報ニ依ルニ二十八日以後在支及太平洋方面米空軍ハ本
土及南西諸島、台灣ノ爆撃ヲ企圖シアルモノ如シ

4. 「マリヤナ」基地ヨリスル「B29」ノ哨戒(偵察)ハ近次特異ニシテ二十七
日一機ヲ以テ那霸港ノ船舶ヲ爆撃ス、二十八日五機ヲ以テ〇九一〇
一〇三〇ノ間高々度ナルモ綿密ニ本島上空ヲ偵察ス

天候氣象ノ概要

南西諸島全地区トモ概ネ中層雲(二〇〇米)及下層雲(七〇米)
アリテ雲量ハ内外ナルモ午後ニ至リ下層雲増加ス

沖繩本島ニ在リテハ四〇米以下ノ層積雲全天ヲ覆フ

敵機來襲狀況ト我々邀撃戰鬥狀況

沖繩本島地区

又五六電波警戒機首里基央一二六度七〇分ニ敵機編隊
沖繩本島ニ向ヒ近接中ナルヲ探知ス

軍ハ〇七〇〇南西諸島全地区ニ空襲警戒報ヲ發令シ邀撃戰鬥
ニ入ル〇七〇四第一波約一五〇機爾後八次ニ亘リ延六七五機ヲ
以テ主トシテ飛行場船舶ニ對シ執拗ナル銃爆撃ヲ實施ス
本空襲ニ於テ一部高射砲陣地ニ對シ攻撃ヲ行ヒタルハ稍々
特異ナリ

那霸港内ニ在リタル船舶ニ對シテハ機ヲ失セズ煙幕ヲ展張シ
敵機ノ直撃ヲ避ケ損害ヲ減少ニ努ム

高射部隊ハ敵機ノ飛下志氣益々旺盛ニ既往ノ教訓
ニ鑑ミ隊長以下渾然一體ノ奮ヲ舉ケ天候我々不利ナルヲ拘ラ
ス雲層三八機爆撃二九機戰果ヲ收メタリ

一六三〇敵機、近接ナキヲ以テ空襲警戒報ヲ解除ス

各離島地区

(1) 大東地区

〇七三〇一三三〇ノ間延九ニ機ヲ以テ飛行場及陣地ニ對シ銃
爆撃及焼夷彈ヲ投下ス所在部隊ハ之ト交戦爆撃八機
要破二五機戰果ヲ擧ゲテ損害ハ極テ輕微ナリ

二二四五一〇一五ノ間五月六隻ノ艦艇沖大東島二百十度三

輸送船六隻沈没、機帆船六隻沈没ハ六隻ナルモ損害増加

ノ見込

5. 兵舎二棟 倉庫一棟ナルモ民家約二〇〇炎上ス

8. 民側死傷三五名

射耗彈概数左、如シ(沖繩本島ミ)

高射砲彈 一六四〇発

機関砲彈 八二七七発

九. 官民の動向

近時敵陸侵攻等ニ関シ一部ニ不安動搖ノ微アリタルモ一般

ニ志氣極メテ旺盛ニシテ軍民一体ノ實ヲ上ゲツツアリ

軍ハ縣側ニ對シ通府情報ヲ傳ヘ冷静ノ行動ヲ行フ沿安上原

意スヘキ事ト象ナシ

十. 戦況

沖繩本島地已ニ於ケルカ如キ天象狀況ハ急降下爆雲機ニ對シ

対空火器ノ待集集中射撃ノ實施ヲ困難ナラシムルコト大ナリ

艦砲射撃ノ築城利用ト分散遮蔽ニ努ムルハ損害極メテ

微ナリ

八. 那覇朝老内船船ノ損害殆皆無ナリレハ対空火器ノ威力固ニ在リトシ

敵ガ港外ノ船船ニ牽制セラレ判断ヲ誤リシニ依リテモ主因ハ終日雲霧ナリ

